

# みなぼーと新潟

Vol.6  
2010年度版

〈巻頭エッセイ〉

●みなとが、まちが、そこに愛語が

〈報告〉平成22年度

●通常総会開催

〈みなと勉強会〉

●技術の伝承

〈特集〉

●湊まち新潟歴史ウォーク

〈みなポート広場〉

●新潟空港花絵プロジェクト



新潟まつり・水上神輿渡御

◆満艦飾に彩られた約50隻の船舶に守られ、みこしを乗せた御座船が信濃川の右岸から左岸へ渡ります。  
水上みこし渡御は「水の都にいがた」を象徴したまつり行事です。(8月第1日曜日・新潟まつり3日目)

## [NPO法人新潟みなとクラブの主な活動]

- 広報誌「みなぼーと新潟」の発行●「みなと」の文化・歴史に関する展示会の開催●講演会、学習会を開催し、みなとまちづくりについて学ぶ●みなとの利用、活用に関する要望のヒアリング●みなとに関する調査・研究
- ◆ みなとまち新潟を愛し、みなとまちづくりに参加したいと思う“あなた”をお待ちしています。
- 入会申し込み方法：入会申込書を事務局宛送付。詳しくは事務局（携帯電話：090-5510-3443）にお問い合わせください。



## 巻頭エッセイ

### 「みなとが、まちが、そこに愛語が」



石井洋司

NPO法人新潟みなとクラブ理事長

この巻頭エッセイに悩んでいる矢先、未曾有の大震災が甚大な被害をもたらしました。多くの犠牲者にお悔やみを申し上げますとともに、被災者の方々にお見舞い申し上げます。

2011年3月11日。三陸沖を震源とするマグニチュード9の巨大地震は大津波を伴い、悪夢のような光景を、テレビを通して間断なく伝えていきます。家々が倒れ、火災が発生し、化け物のような大津波に巨大なケーソンがひっくり返ります。船が陸に押し上げられ、車、家、町が飲み込まれ消えていきます。なす術も無くまるでおもちゃのようにあっけない惨状に、これが現実かと言葉を失うほどです。

震災発生直後から、被災地や被災者への励ましの言葉をたくさん耳にするようになりました。どれも心からなくさめ、いたわり、共に悲しむ言葉ばかりです。まるで良寛さんの“愛語”、相手をやさしく思いやる言葉が日本中から湧き出たかのように感じます。日本はおろか世界からも支援のうねりが起きています。小さな手で缶から一個一個つまみ出し募金する健気な姿を新潟空港で見ました。私の知る新潟市職員は不眠不休で被災者受入業務や被災地支援に行った人の分で増えた業務まで黙々と対応しています。支援は被災地で直接行うことばかりだけではなく、今、自分でできることを精一杯実行に移すことも大きな支えになると皆が分かっているからでしょう。節電を通して、世界に誇る“もったいない精神”が蘇っているように思います。MOTTAINAIキャンペーン提唱者でノーベル平和賞受賞者のワンガリ・マータリさんは「日本、そして日本人は、このような災

害時においても、どのように対処すれば最も効率的なのか、そして何が最良の策なのかを考え出す力を持ち合わせており、必ずや日本は再生し、花を咲かすことでしょう。(一部省略)」とメッセージを寄せています。

3月24日の新潟日報朝刊に「東北の港湾すべて再開」と掲載されていました。堆積した車や瓦礫などで水深が足りず暫定利用も含んでのことですが、海上から支援物資やエネルギーが輸送できれば大きな力になり復興が加速するはずですが、大震災との闘いはまだ始まったばかりですが、被災地は徐々に立ち上がりつつあります。

このエッセイ、「みなとまち新潟」をタイトルにしようと考えていましたが、どうしてもそれを書くのがはばかられ、脈絡なく耳にしたこと目にしたことを羅列し、巻頭エッセイに代えさせていただきます。最後に少しだけ触れさせていただきます。

2019年は新潟港開港150周年です。信濃川河口は古くからの湊で、1869年に日米通航通商条約による五港の一つとして世界に向けて開港し、今では、日本海側の拠点として重要な港湾となりました。そして、その“みなと”と舳いながら“みなとまち”が発展してきました。しかし、もっともっと世界と交流し、もっともっと魅力的な“みなとまち”になれるはずですが、一緒に150周年に向けて取り組んでみませんか。



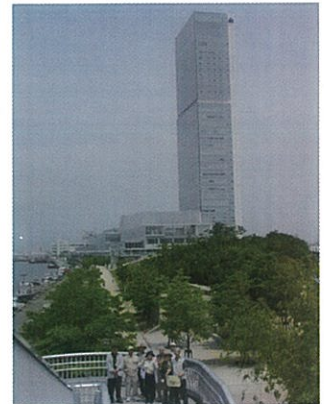


《湊まち新潟歴史ウォーク》第2弾！！

～港町として発展してきた新潟の歴史と魅力を歩いて探る～

湊まち新潟歴史ウォーク実行委員会(北陸地方整備局新潟港湾・空港整備事務所、NPO法人新潟みなとクラブ、NPO法人にいがた湊あねさま倶楽部、NPO法人新潟水辺の会)が主催する「湊まち新潟歴史ウォーク」は、今年で3年目を迎え、5月から11月までの各月1回、計7回が開催され、予め募集・登録された一般市民の方々40名が参加しました。

今回は前回(第5号)で報告できなかった第2回、5回、6回、そしてまとめの7回について報告します。



第1回 朱鷺メッセへ行こう！

平成22年度「湊まち新潟歴史ウォーク」実施概要

(実施日は全て土曜日)

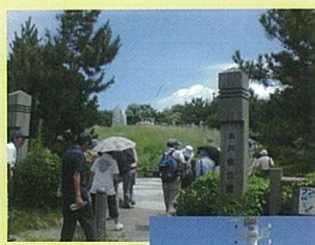
回数	実施日	テーマ	探訪サイト	見学内容
第1回	5月22日	湊まち新潟の歴史概説	みなとぴあ、朱鷺メッセ	みなとぴあ、朱鷺メッセの見学
第2回	6月19日	新潟湊の下町散策	新潟下町と小路	湊稲荷神社、金比羅神社等新潟下町の散策
第3回	7月24日	新潟湊の水先案内と大型浚渫兼油回収船	日和山から水戸教公園、入船地区	日和山(住吉神社)、水戸教公園、入船みなとタワー、新潟みなとトンネル、大型浚渫兼油回収船「白山」の見学
第4回	8月28日	水運で活用されている水路散策	津島屋地区から山ノ下地区までの通船川	津島屋閘門排水機場、通船川、山の下閘門排水機場の見学
第5回	9月18日	新潟湊の経済を支えた建物探訪	西大畑と寄居浜周辺	西大畑公園、旧齋藤家夏の別邸、どっぺり坂旧日銀支店長役宅、旧市長公舎、ドン山の散策
第6回	10月23日	沼垂湊と発酵の町散策	沼垂周辺	発酵製品と沼垂町屋の散策
第7回	11月20日	開港150年の湊まち新潟	朱鷺メッセ	2019年「開港150年」の湊まち新潟へ向けた夢と希望の意見交換会

湊まち新潟歴史ウォーク フォトダイジェスト

今回紹介できなかった第1回、第3回、第4回をフォトダイジェストで紹介します。



第1回  
みなとぴあ～みなとさがん散策



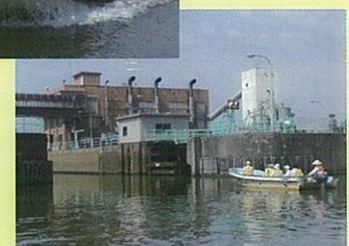
第3回  
水戸教公園



第3回  
新潟港を維持する大型浚渫船「白山」



第4回 通船川  
水路散策



第4回 水路散策(山ノ下閘門)



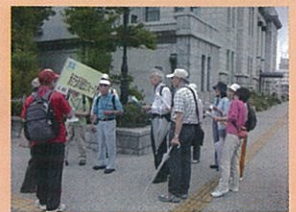
## 第2回ウォーク 新潟湊の下町散策

6月19日(土)「新潟湊の下町散策」をテーマに開催しました。

当日は、前日の雨で開催が心配されましたが幸い傘をさして歩くほどの雨でもなく、快適な気温の中での開催となりました。

今回のウォーク「新潟湊の下町散策」では、新潟市歴史博物館(みなとぴあ)から左右に班を分けてのスタートとなりました。新潟の下町にある湊稲荷神社、金刀比羅神社、浄信院(入船地蔵尊)、日和山住吉神社、長音寺などの見所を、シティガイドの皆さんの丁寧なガイドにより、下町が湊と共に発展してきた歴史や、かつては湊がもっと西寄りの日和山の近くにあったことを学びました。

参加者の多くから感謝の言葉や「何気ない小路に歴史があることを知りました。」などの感想がよせられました。



散策経路図



## 第6回ウォーク 沼垂湊と発酵の町散策

10月23日(土)「沼垂湊と発酵の町散策」をテーマに、沼垂白山神社をスタートし、今代司酒造、沼垂寺町、日石の赤レンガ倉庫など味噌蔵や酒蔵が多く残る発酵の町「沼垂周辺」を湊の歴史を感じながら散策しました。

参加者は、河川の浸食により幾度の移転を余儀なくされた歴史有る町「沼垂周辺」を地元ガイドの名解説を聞

きながら楽しそうにウォークされていました。

参加者からは、普段なかなか馴染みのない沼垂周辺の歴史や紅白歌合戦にも出られた沼垂育ちの「小唄勝太郎」の事など、貴重な話が聞けて感謝しているなどのお言葉を頂きました。

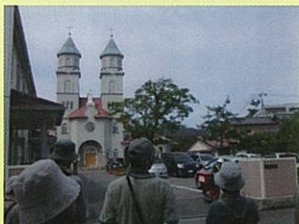




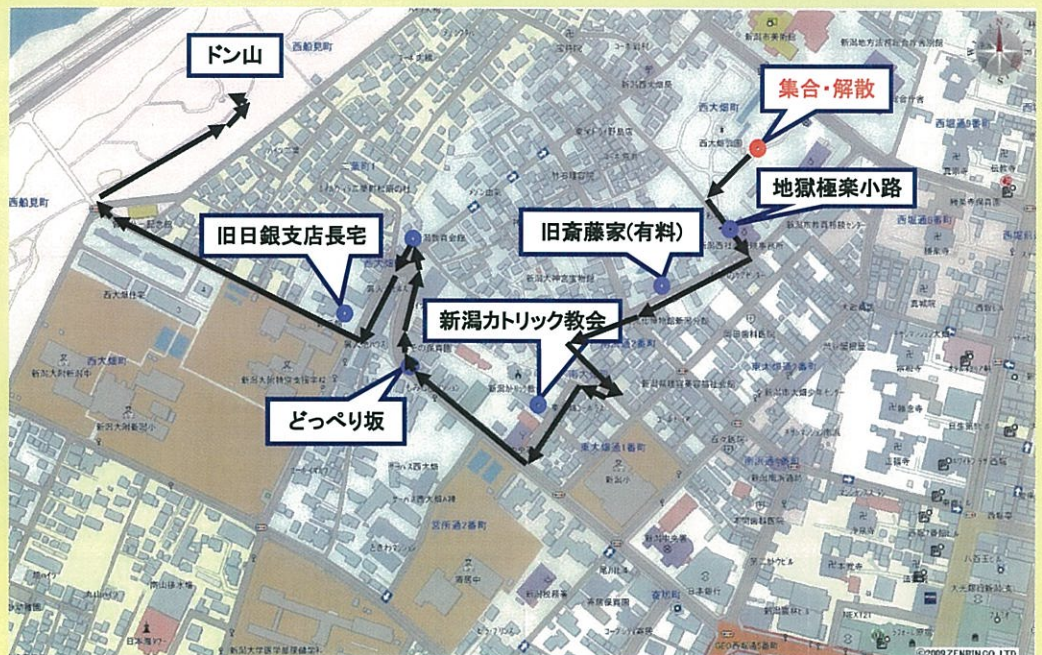
## 第5回ウォーク 新潟湊の経済を支えた建物探訪

9月18日(土)「新潟湊の経済を支えた建物探訪」テーマに、西大畑公園をスタートして、新潟三大財閥の一つに数えられた豪商の旧齋藤家夏の別邸、安吾風の館(旧市長公舎)、砂丘館(旧日銀支店長)、新潟カトリック教会等の新潟湊の経済を支えた純和風木造建築などの美しい景観をご覧頂きながらコースを探訪しました。

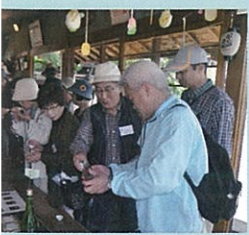
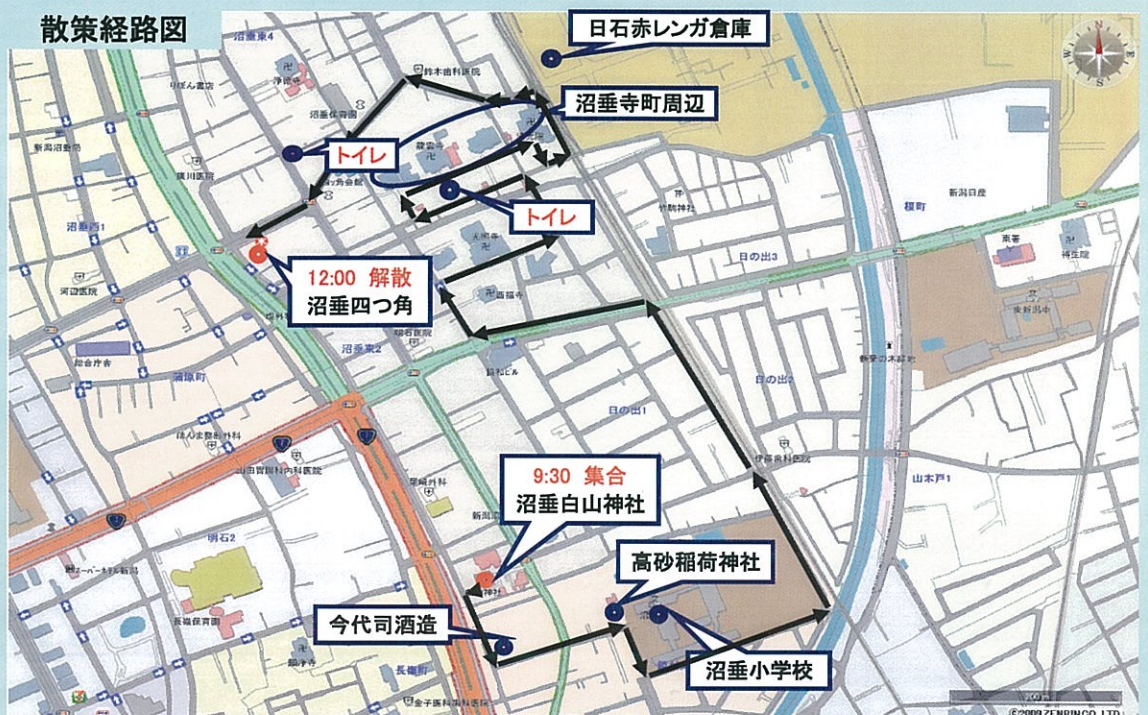
当日は、前日までの雨模様の天候が嘘のように少し汗ばむ程のウォーク日和となり、参加者は各班に分かれ、それぞれ解散時間一杯までシティガイドの名調子の解説を聞きながら楽しんでウォークされていました。普段、中々なじみのない歴史に触れ、「貴重な体験をさせていただき感謝している。」との嬉しいお言葉を頂きました。



散策経路図



散策経路図





## 第7回ウォーク「開港150年湊まち新潟に向けての夢と希望」

11月20日(土)朱鷺メッセ展望室、参加者市民29名、スタッフ24名、計53名

◆記念講演「湊町としての新潟～その歴史と特質～」  
講師 伊東祐之さん(新潟市歴史博物館学芸課長)

◆「湊まち新潟歴史ウォーク2010」意見交換会  
コーディネーター 小島富美子さん(NPO法人にいがた湊あねさま倶楽部代表)

「意見交換会」では、参加された方々からウォークの総まとめとして、2019年に開港150年を迎える湊まち新潟に向けて、それぞれ感じた熱い思いを自由に発言していただきました。

意見交換会のまとめ

- ①歴史や良い点を探し出し、活かして行くことを目指していく。
- ②ウォークに参加した方々が、それぞれ一つの点となって新潟の魅力の伝承者となる。
- ③開港150年を迎える新潟港が、ますます魅力的な港となっていくよう進化した観光を柱に考え、アピール、行動をしていく。

最後に、スタッフを交えた昼食会が行われ、最後まで多くの思い出が語られていました。

今回のウォークを通して、皆様から頂いた貴重なご意見を2019年に開港150年を迎える「新潟港の将来の姿」への魅力アップに活かして行ければと思っております。



阿部実行委員長より終了証授与



伊東祐之さん記念講演



熱心に聞き入る参加者



意見交換会



コーディネーター 小島富美子さ



活発な意見交換



参加者揃って記念撮影



2010年開催の「湊まち新潟歴史ウォーク」全7回の概要は、NPO法人新潟みなとクラブのホームページでもご覧頂けます。ホームページアドレス<http://minatoclub.la.coocan.jp/>

NPO法人新潟みなとクラブでは、2011年度も引き続き「湊まち新潟歴史ウォーク」を開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしています。



平成22年度 NPO新潟みなとクラブ通常総会開催  
新潟みなとの発展を支えるための活動方針決定！

▼平成22年5月23日(日)14時～  
▼於クロスパルにいがた講座室



石井洋司・新理事長挨拶

◆昨年は、修好通商条約により新潟が開港5港(函館、新潟、横浜、神戸、長崎)の1つに指定され、1869年1月1日(太陽暦)に開港してから141周年を迎えました。

◆来るべき2019年に新潟港は「開港150周年」を迎えるため、当クラブの総会においても、引続き地域との連携を図りつつ市民的立場でみなとの発展を支えるための活動方針が決定されました。

◆主な活動としては、「みなとに係る啓発・普及事業」、「みなととみなとまちづくり推進事業」、「みなととみなとまちづくりに係る技術・知識を伝承する事業」、「みなとに係る調査・研究事業」等です。

◆「NPO新潟みなとクラブ」は設立5年目を迎え、5月23日「平成22年度総会」を開催しました。

◆最初に、設立当初から理事長を務められた阿部琢郎氏から石井洋司理事に交代となった事が報告されました。

◆ご来賓の北陸地方整備局新潟港湾・空港整備事務所長の竹村淳一様のご挨拶のあと、議事にうつりました。



小島富美子理事講話

◆総会の後に、小島富美子理事の「日本の国の食の流れ」と題して講話がありました。

みなと勉強会開催 《技術の伝承》

▼会場：新潟港湾・空港整備事務所

◆「NPO法人新潟みなとクラブ」では、クラブ会員を講師として北陸地方整備局(港湾空港部)の技術職員を対象に、勉強会「建設技術力養成セミナー」を開催しております。平成22年度では、「岸壁の施工技術」と「技術検定試験受験講座」を開催し、技術の伝承に力を注いでおります。

◆岸壁の施工技術セミナーは、8月4日に行われ、新潟東港で-12m岸壁工事が施工中であったこともあり、若い技術者にとっては大変関心の高い勉強会になりました。

講義の後、グループ毎に「岸壁施工における留意点」をテーマに討論を行い、参加者の様々な角度・視点から意見が交わされ有意義なセミナーとなりました。

◆技術検定試験受験講座は、9月27日に行われ、1級土木施工管理技士資格取得を目指す若い技術者たちが受講し、活発な質疑応答もあり、受験に向けて大いに励みになった事と思われま



岸壁の施工技術セミナー



技術検定試験受験講座



## ～ 花絵でおもてなし「2010新潟空港花絵プロジェクト」～

NPO新潟みなとクラブが主催する、「2010花絵プロジェクト・新潟空港をチューリップの花絵で飾ろう」が、GW真っ只中の5月1日、新潟空港で実施されました。

はじめ保育園、下山保育園、下山小学校、下山中学校そして一般参加者、花絵プロジェクトスタッフなど総勢約100人が参加しました。



午前中は、チューリップの花摘み、午後からは花絵づくりです。



ボードの花絵は、「航空100年と新潟空港開港80年」を祝うデザインで、1本1本チューリップを穴に差し込む根気のいる作業ですが、みんなで協力し合い見事に完成しました。



敷き並べ花絵は、空港ビル1階センタープラザに、四区画それぞれ参加団体の皆さんの自由なデザインです。下山保育園は「こいのぼり」、はじめ保育園は「にこにこマーク」、下山中学校は「チューリップ畑」、そして下山小学校と一般参加者は「APEC歓迎シンボルマーク」です。

それぞれのグループは、楽しそうに協力し合いながら1時間ほどで完成しました。

今回のプロジェクトを主催した「NPO新潟みなとクラブ」の石井理事長は「楽しみながら空港利用者を花絵でもてなす事ができました。空港と一体となったまちづくりに繋がったと思います。」と話されています。

新潟空港ビルは、GWで出発する人、到着する人など大勢の人たちで賑わう中、花絵づくりを見て、「すごく綺麗で楽しそうですね」などと話されていました。

花絵は、GW期間中展示されましたが、空港利用者の皆さんの目を楽しませてくれたことでしょう。



### トピックスー海岸の話題ー

#### ●新潟西海岸海岸清掃

7月19日(海の日)、新潟西海岸の海岸清掃に、みなとクラブから15名参加しました。この海岸清掃には、平成18年みなとクラブ設立以来毎年参加しています。

#### ●ビーチライフIN新潟

8月22日(日)新潟西海岸(日和山浜)で第4回ビーチライフIN新潟が開催された。快晴、強い日差しの中、ビーチフラッグス、ビーチ相撲、ビーチバレー、ビーチサッカーなど熱戦が繰り広げられた。約3000人の参加で、浜は一日中歓声が絶えませんでした。

### <編集後記>

東北関東大震災で被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族に心からお悔やみを申し上げます。また被災地域の日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

新潟地方は2年連続の大雪でしたが、ようやく日差しが暖かくなり春めいてきました。今年の夏は2年連続の猛暑にならないよう願うところです。

発行：NPO法人新潟みなとクラブ

事務局：新潟市東区太平四丁目20-32 TEL(携帯)090-5510-3443

「みなぼーと新潟」に対する、ご意見・ご感想を上記あてにお聞かせ下さい。

ホームページを開設しました。

<http://minatoclub.la.coocan.jp/>